

これからの大学職員“URA“(基礎)

開催趣旨

近年、「第三の職種」である URA (University Research Administrator) と呼ばれる研究支援を専門とする職員が大学などの研究機関に置かれるようになってきています。文部科学省の統計によれば、URA を置く研究機関は約 200 機関、そして人数は 1,600 名を超えるほどとなりました。

本研修では、研究機関、特に大学において URA という専門職が必要とされるようになった背景や、URA が実際にはどのような業務を行なっているのか、どのような役割を果たしているのかについて、京都大学学術研究展開センター (KURA) の事例をもとに紹介します。

大学における研究推進、研究支援で課題を抱えている人、あるいはこれから URA と協働したいと思っている事務職員、これから URA になりたいと思っている方の受講をおすすめします。

対象の目安

全教職員 (勤続年数にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。)

開催日時

2023年7月12日(水) 13:00~16:00

会場

キャンパスプラザ京都 4階 第4会議室

募集定員

20名

※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順

※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。

※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

【参加費用】

加盟大学・短期大学 1,000円

非加盟大学・短期大学 4,000円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】

2023年7月10日(月)

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEB ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2023年5月30日（火）10：00 ～ 6月28日（水）17：00

研修プログラム

- URA が置かれるようになった背景
- URA の現況
- 事例紹介
 - 京都大学学術研究展開センター（KURA）
- 意見交換

講師

天野 絵里子 氏

京都大学学術研究展開センター（KURA）

リサーチ・アドミニストレーター（URA）

1998年より京都大学附属図書館等で図書館職員として参考調査、機関リポジトリ、学修支援などを担当。2014年より京都大学学術研究支援室（KURA）URA。研究者や図書館、情報部門と連携してオープンサイエンスを推進する他、URA 育成プログラムや学内ファンドなどを担当。2008年同志社大学専門職大学院ビジネス研究科修了、2015年総合政策科学研究科博士後期課程修了。博士（技術経営）。

<https://researchmap.jp/amanoeriko>